

ロールプレイング～ラオスの托鉢～

ねらい：ラオスの托鉢の風習を通して、自分のさせとなっているものは何か考える。

対象：中学生～

時間：50分

準備するもの：ルアンパバーンの托鉢の写真、オレンジの布、どんぶり、ボール、かご（子ども用）、ラオスのお金風の紙、観光客用のカメラ

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	1、ロールプレイングの説明を聞く。 「托鉢のロールプレイングをやってみよう」 【役割】 ・ラオスの人々 ・お坊さん ・観光客 ・お店の人 ・子どもたち	・托鉢の写真を見せ、ロールプレイングをすることを説明する。しかし、托鉢のようすをあまり説明しすぎない。 ・ロールプレイングカードを配り、自分の役割を確認する。 ・スタート位置につかせる。	・托鉢の写真（パワーポイント） ・ロールプレイングカード ・寺やお店の写真 ・ロールプレイングに必要な道具 ・45Lの透明袋 ・ポリ袋（中）など
展開 (20分)	2、ロールプレイングをする。 3、ロールプレイングをしてどんな気持ちだったか振り返る。 「やってみて、どんな気持ちだったかな」	・ワークシートを配り、自分の気持ちを書かせてから、グループで交流させる。	・ワークシート
(15分)	4、教師からルアンパバーンの托鉢のようすを聞き、ラオスの人々がどんな気持ちで喜捨をしているのか考える。 「あなたは、ラオス人は毎朝どんな気持ちで喜捨をしていると思いますか。」	・お坊さんは、托鉢で集まったもので生活をすべてまかなっていることや、生活の苦しい家庭の子どもたちはお寺のお手伝いをすることでお寺から食べ物などを分けてもらっていることなど説明する。	・スライド（パワーポイント）
(5分)	5、教師から、ラオスで喜捨を体験したときに感じたこと、考えたことについて話を聞く。		
まとめ (10分)	6、自分の心の支えとなっているものがあるか考える。 「あなたの心の支えとなっているものは何ですか。」	・ワークシートに個人で書かせたあと、全体で共有する。できれば、家庭で家族と話し合わせる。	

ラオスの托鉢

()年 氏名 ()

1、どんな気持ちか書きましょう。(自分は何をした?何を感じた?どんな気持ちだった?)

私は () をやりました。

2、()

3、()

【資料2】教師の話

ラオスの人は、毎朝5時半から始まる托鉢を待っています。ラオスでの研修中、私たちは托鉢をするお坊さんへ喜捨をする体験をするために、朝5時にホテルをでました。

お坊さんが通る場所へ来ると、観光客向けに喜捨セットを売っている人や喜捨をするために集まった人々が準備をしていました。

托鉢が始まると私たちは、ラオスの人々の真似をして喜捨をしました。**Q2あなたは、ラオスの人々は毎朝どんな気持ちで喜捨をしていると思いますか。**

私は喜捨をしているうちに、厳かな気持ちになりました。感謝の気持ちや家族や周りの人を大切にしたい気持ち、まわりに支えられていると感じました。そして、「また頑張ろう。努力しよう。家族や周りの人を大切にしよう。良く生きよう。」と思ったのです。私は、ラオスの人もそのような気持ちで喜捨をしているのではないかと思いました。もし、困難なことが起こったとしてもこのような気持ちが心の支えになるのだと思いました。**Q3あなたの心の支えとなっているものは何ですか。**

【資料3】 **ロールプレイカード（1グループ5、6人）**

<p>ラオスの人</p> <p>あなたはラオスの人です。朝早くから、喜捨（喜んで渡すこと）をするためにお坊さんを待っています。たくさんあげるほど、徳が積まれます。なので、あなたはたくさんあげたいと思っています。何をあげるか自分で決めましょう。</p>	<p>観光客</p> <p>あなたは観光客です。托鉢の場に遭遇しました。初めて見るので、写真を撮りました。自分でもやってみたくので、お店で托鉢セットを買うことにしました。値段を交渉して、買って下さい。</p>	<p>子どもたち</p> <p>あなたはラオスの子どもです。お寺のお手伝いをしています。お坊さんがもらったものを持ちきれないとき、かごに入れてお寺まで一緒に運びます。</p>
<p>売っている人</p> <p>あなたは観光客むけに托鉢セットを売っている人です。価格は、30,000 キップです。原価は、15,000 キップです。20,000 キップまでは下げてもいいと思っていますが、なるべくもうけたいです。</p>	<p>お坊さん</p> <p>あなたはお坊さんです。朝起きて、身じたくをし、心の中でお経を唱えながら托鉢をしに行きます。もらったものがいっぱいになったら、子どものかごにいれます。</p>	<p>ラオスの人</p> <p>あなたはラオスの人です。朝早くから、喜捨（喜んで渡すこと）をするためにお坊さんを待っています。たくさんあげるほど、徳が積まれます。なので、あなたはたくさんあげたいと思っています。何をあげるか自分で決めましょう。</p>

※6人グループの場合は、「ラオスの人」を2人とする。

【資料4】 ロールプレイに必要な道具



↑お坊さんの衣装と
喜捨を入れるためのどんぶり



↑子どものかご



↑ボール80個（ラオスの人と
観光客の喜捨用）、
ラオス紙幣風の紙

【資料5】 パワーポイント

ラオスの托鉢

1 タイトル



2 「これは、ラオスの托鉢です。
みんなでやってみよう！」



3 「ラオスのルアンパバーンでは、
喜捨をするためのセットが
売られていました。」



4 「ラオスの人たちは、並んで
托鉢を待っています。」



5 「わたしも、一緒に並んで托
鉢を待ちました。これは、私が
買った喜捨セットです。」



6 「お坊さんの入れ物がいっぱい
になったとき、子どものかご
へ移します。子どもはそれをお
寺へ運ぶお手伝いをします。」



7 「托鉢のようすです。観光客
がそのようすを写真で撮ってい
ますね。」



8 「あなたは、ラオス人は毎
朝どんな気持ちで喜捨をして
いると思いますか。」

